

第4回三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業検討委員会(議事録)

【日 時】 令和6年3月6日(水)19:00~20:00

【場 所】 役場第2会議室

【参加者】 別紙のとおり

【内 容】 次のとおり

1 開会(青木地域振興監兼企画健康課長)

それでは少し早いですけれども、予定されてる方が全員お揃いですので、ただいまから第4回の三朝町温泉を活用した健康まちづくり事業検討委員会を始めさせていただきたいと思います。開会にあたりまして赤坂委員長の方からご挨拶をいたします。

2 委員長(副町長)あいさつ

皆さんこんばんは。今日はお忙しいところ、お忙しい方にこうしてお集まりをいただきまして本当にありがたく思っております。健康まちづくり事業、ずっと検討を進めて参りましたが、いよいよ基本計画もまとめていく時期になっております。ご協力ありがとうございます。これについては本当に町民それぞれいろんな方々の期待が大きくて、「どういうふうになるの」とか、「どういう施設ができるの」とかいろんなことを、「いつできるの」ということでかなり期待の高い、期待される声が耳に入って参ります。何とかいい方向になっていくように頑張っていきたいと思いますので、今日はいろいろと意見をいただけたらと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

3 進捗報告・意見交換

地域振興監	それでは早速でございますけれども、日程に従いまして、3番の進捗報告と意見交換ということで始めさせていただきたいと思います。本日は基本計画案についてということで、これがメインになりますのでそういう形でご理解をいただきたいと思います。では、ここからの進行は、委員長でお願いいたします。
委員長	はい。それでは最初にですね、事業の進捗報告について資料1ということでございますが、これについてお願いします。
地域振興監	それでは11月14日の前回の委員会から、こちらであったことを簡単に報告をさせていただきますと思います。資料は1でございます。斜線で書いてある文字のところになりますが、この基本計画の骨子をまとめたもののパブリックコメントということで、2月1日から2月14日ということで公募しておりますが、特にご意見というものは届いておりません。 それから1月21日でございます、三朝温泉を知ってもらう取り組みの一環として、町制70周年記念という冠をつけながら、温泉を活用した健康まちづくりシンポジウムということで、看護大学の田中教授、それから岡山大学の山岡教授に講演をお願いしてパネルディスカッション等で、この計画もご紹介をさせていただいたと、計画といいますか、構想をご紹介させていただいたというようなことがございました。こちらは80人の出席ということで、録画等が日本海ケーブルネットワークでも流れたということでございます。 その他、温泉と健康づくりを連携させる取り組みということで、チーム会議を第3回、第4回はこれからでございますけれども、今年の取り組みの時、評価ですとか、来年に向けての検討ということをやっております。それから、温泉運動浴と、温泉フィットネス、湯ラックスという名前をつけておりますが、実験事業ということでそれぞれの期間に、これも源泉閣の広間なり温泉病院のプールを使って町民の方に参加をしていただくということで、この事業を少しPRしながら、体験していただきながら、ご意見をもらったりというようなことをやっております。それぞれ温泉フィットネスは延べ140名、それから温泉運動力は、51名の参加ということで終えておるところでございます。進捗の報告につ

	いては以上でございます。
委員長	はい。ここまでで皆さんの方で何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。 はい。それでは早速ですけれども計画案の方に進んでいきたいと思います。
地域 振興 監	基本計画案について、そして前回検討委員会のご意見と対応についてということで資料2と4です。関連しますので、合わせての説明にさせていただけたらと思いますし、ちょっと長くなりますので、計画は大きな柱が3本ありますので1つずつ区切っていこうかなと思います。そうしますと資料2でつけておりますが基本計画の案ということで、最初の方を少し流していきたいと思います。1ページでございます。これまでの経過ということで、この事業は令和3年から事例調査等が始まっております、令和4年には、ワーキンググループを立ち上げまして基本構想に向けた意見を伺ったりしながら、令和5年の本委員会が始まったときになりますが、基本構想を策定しまして、目標を三朝温泉を初めとする町の資源を有効に活用し、町民の予防を総合的に推進、健康増進する仕組みを作るということで、掲げましてスタートしておるところでございます。それぞれの項目についてはそこに書いておる通りでございます。それから3ページをお願いいたします。3ページには基本計画の位置付けということで、この計画がどういう背景を持っているかというところをお示しをしております。総合計画第11次総合計画に掲げております笑顔と元気があふれ輝くまちということを目指した項目の中に掲げたものでございまして、地方創生の総合戦略の中で温泉を生かした健康まちづくり、温泉増進エリア構想ということで、事業を始めたということでございます。 めくっていただきまして、5ページをお願いいたします。調査業務の結果、結果をここに記載しております。この調査業務は、この基本計画を作成するに当たりまして参考とするために、業務委託を行った結果ということでございますが、かいつまんで申し上げますと、健康づくり、そして温泉入浴に対する町民のニーズでありますとか、事業内容を検討する上でのご意見、さらには、温泉を活用した健康づくり事業のイメージとか先ほどもございましたが、期待をする声といったようなものをヒアリング調査アンケート調査等を通じて、言えばこの基本計画を応援するような形のものというようなことにはなりますけれども、調査結果を通じて、事業の必要性でありますとか、計画に基づく、盛り込むべき要素を抽出して参ったということでございます。7ページからが計画3本の柱の本体になって参ります。基本計画における個別事業実施方針ということで、ございます。従前から申しておりますように3本の方向性を持ってその取り組みを記述をして参っておりますが、入口としまして、7ページに事業推進体制ということで、この事業の進める、組み立て、進め方の体制について少し述べておるところでございます。温泉を活用した健康まちづくり事業を持続可能なものとするために、三朝町を核とし、医療団体、福祉団体、観光関係団体等の連携、さらには、指定、入浴施設等を管理する関係で、指定管理者制度等の関わりのある運営者とも密接な連携が必要になると、ということでこの連携に加えまして、岡山大学さんの研究でありますとか、そういったものを反映されながら、知る機会と健康づくりを实践する、そして温泉入浴という、一連の流れで循環を生み出していくための体制と、ということで、簡単には書いておりますけれども、イメージを載せたものでございます。 9ページをお願いいたします。3本の柱のうち、三朝温泉を知ってもらおうという切り口の中での取り組み事業を何本かここに載せてきております。三朝町温泉活用報告会ということで有識者による三朝温泉に関する研究内容の講演を行いまして、町民をはじめとする皆さん、温泉湯利用者からの体験報告等を行うことで、医学的エビデンスに基づく話、体験談の融合による身近で役立つ温泉知識をられる場を作っていくというようなことを。さらには、体験者による口コミ情報を発信していくというような取り組みを考えたところでございます。 10ページでございます。三朝温泉ミュージアムの解説ということでございます。三朝温泉の健康効果効能に関する資料について、開湯してから850年以上の歴史をまとめまして、それらを展示するミュージアムスペースを開設しようとするものでございます。三朝温泉の健康効果等に対する学びの場を提供しようとするもので、手法としては、そこに

	書いておりますけれども、入浴等施設を整備するという、施設の中でのスペースと、インターネット上に、そういうサイトを作りまして、デジタルミュージアムとしての発信ということを考えておるところでございます。 11ページでございます。町民ラヂムリエ等の育成ということでございます。三朝温泉の知識に加えましておもてなしの作法等について持ち合わせている資格であるラヂムリエを参考といたしまして、同様の知識を持ち得る資格等の制度を創設し、認定者を増やし、三朝音声を知ることのできる人材、語ることのできる人材を増やしていこうとするものでございます。 12ページをお願いします。温泉入浴を契機とした健康づくり機運の醸成ということでございます。これにつきましては、地域で実践をしております健康相談事業でありますとか、子育て相談等の場所を活かしまして小中学校での教育活動、集落地域での学び等の、機会を生かしまして、温泉を活用した健康まちづくりの講座を進めていこうとするものでございます。 13ページをお願いします。子どもの参加体験型学習ということで、温泉と環境でありますとか、温泉の過去と最先端というようなテーマを活用しまして、子どもたちが温泉環境大使となり、いろいろな情報を発信する、学びを得るといったことで、子どもたちを活用することによって大人への啓発であるとか大人の関心、そういったものを集めながら進めてはどうかという提案でございます。以上が、現在考えました温泉を知ってもらうことに対する、学んでいただくということに対する、活動の計画ということでございます。 資料3に前回検討委員会のご意見と対応表ということで、3枚ものでペーパーを置いておると思います。一番の温泉を知ってもらうという中で、出た意見を載せておりまして、入口で出た意見でして、ちょっと総括的な意見がたくさん出ておったというふうに思っておりますけれども、町民に加えて対象者を移住とか移住者とか関係人口を含めた、広く設定した方がいいんじゃないかというようなご意見、それから、事業計画は、目標とか、対象を絞ったほうがいいよっていうようなご意見、ラヂムリエについては、必要なノウハウを提供するので、頑張っって欲しいというようなご意見をそれぞれいただいております。それぞれ対応に書いておりますが、言われた趣旨を盛り込みながら、表記をしておるつもりでございますので、またお気づきの点等がございましたら、そこをご指摘いただければと思っておりますが、絞って取り組もうとした表記をしておるつもりでございます。以上です。よろしく願いいたします。
委員長	はい一旦ここで切らせていただいて、計画案でいいますと、13ページまでになろうかと思いますが、ここまでのところで何かご質問なりご意見なりございましたら。
沖田委員	沖田でございます。私、恥ずかしながら先月初めてラヂムリエの講習を、こっちにきてもう10年近くなるほどになって、旅館組合の理事長もしながら、初めて受けさせてもらったんですけど、温泉の効果効能とかだけではなくて、ラジウムやラドンの関係であったり、それが環境や健康にもたらす影響であったりっていうことを、結構な深度で講習していただいて。より一層というか、これからもっともっと勉強せなんなと思ったんですけど、そういったところを、町民の方もかなりの数、講習受けてられるので、大分浸透してきていると思うんですけど、今まで以上に、さっき子ども、児童生徒の方の話もありましたけど、子どもさんも含めて、そういった教育をもう少し進めていければなと思います。以上です。
地域振興監	ありがとうございます。実は役場もですね、初めてといたしますかこういうことをやりながら、そういう機会をいただいたということで、我々と健康づくり係の職員で行かせていただいて、改めて体系的なものを手にさせていただいて、いいものを手に入れたなというか、そういう形で帰っておりますので、ぜひそちらに向けて参りたいと思いますので、よろしくお願いします。
麻田委員	意見等っていうこととちょっとずれるかもしれませんが、先日湊泉閣であったシンポジウムを聞きに行かせてもらったんですけど、そこの中で田中先生がお話しされた。お客さんと呼ぶのにいろんな提案されたんですけど、話を聞いてて、ちょっと古い、大分古い話なんですけど、40数年前の話です。一番よく知っておられるのが御船委員さんだと思う

	んですけど。三朝温泉で健康増進旅行っていうのをされたんですよね。40数年前なんで多分知っておられる方、いないんじゃないかと思うんですけど。4、5軒の旅館さんが取り組まれて、料理も調理師さんに同じような料理献立つくって出されて、それから3泊4日ぐらいでしたかね。1日目は、俵高原だとか、中津ダムの方のとか観光に連れて回って、2日目は、運動、水中での運動浴で、それは大阪体育大の学生を呼んで、その人たちに指導させたりっていうようなことをされたことを思い出したんですね。あれは、いわゆる県外から来る人対象だったんだけど、これを町民に設けられて町民が元気になろうという、そういうものにも、特化しちゃうわけではないのかもしれないけれども、何かすごく期待というか、私自身がワクワクしてますんで。ただ、あのときはなんかそういうことについて、事業費がついてやられたのか、私もまだ37のときの話なので、その内容まではわからなかったですけども、三朝ってとってもいいことを昔からされとったんだなってことを改めて思ったんですね。これを本当に今回は、町民の健康のために生かしていった欲しいなっていうこと、ちょっと切に感じましたんで、ちょっとここで一言言わせていただきました。
地域振興監	ありがとうございます。次に出てくる新しい健康づくり活動と温泉入浴を循環させるとか、連携させるとかっていうような中に、今はどちらかというと、運動と入浴っていうのがストレートに書いてありますけれども、そういった意味では、様々なフィールドを持っている三朝温泉ですし、町民の切り口からの旅館へのアプローチとかっていうことも、メニューとしては考えられるというふうに思っておりますので、また今後の参考にしていきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。もしあれば、戻ってでも結構ですので意見をいただけたらと思います。それでは先に進ませていただけたらと思います。
地域振興監	次は14ページ以降から2つ目の柱でございます。方向性でございます温泉と健康づくりを連携させるというテーマのところをお話させていただきたいと思います。まず14ページに、新しい健康づくり活動と温泉入浴の循環を構築するということで、取り組み内容としては、これまで三朝温泉病院、三朝町社会福祉協議会、地域協議会などが連携して実施してきております。各種の予防教室、リハビリ教室などを継続しながら、新たな運動、スポーツ教室などを開催し、今に合ったものというのものもあるのかもしれない。さらには個人で取り組める基礎体力の向上、ストレッチ、筋力トレーニングといったような、健康メニュー、健康づくりメニューを体験していただきながら実践していただきながら、温泉入浴への組み合わせで推進していこうというものでございます。14ページには、健康づくり活動の現状のメニューといいますか、行っておるようなもの、それから今後展開、新しい施設等も使いながら、新しくメニュー化して取り組んでいこうというものを、リストとして挙げております。下の緑の表の方で、下線を引いておるのが、新しい取り組みかなということで、これを進めてプラスで進めていきたいというふうに思っております。 15ページには、健康まちづくりの拠点イメージということで、入浴施設と運動活動とのスポーツセンターとの関係を、簡単にではございますがそのイメージを書いております。スポーツセンターとの相互の矢印がございまして、後でちょっと場所のことにも影響がございまして、そういう中で進めていこうという考えスポーツ活動を運動活動と、入浴施設の繋がりをイメージしていこうとするのがこの絵の持っておるものでございます。 16ページでございます。先ほどお話をしておりますが、今年度スポーツ庁の補助事業を使っております。温泉と健康づくりを連携させる取り組みというものを、ここでは参考として紹介しております。町民の皆さんにやろうとしていることのイメージを伝えるという効果をねらっておりますが、こういったものを今年1年やりましたので来年以降もこれを拡大させる可能性を探っていくということで、これを続けていこうということでここに載せたものでございます。 それから17ページでございます。健康づくり実践者に対するインセンティブの付与ということでございます。リハビリ、フレイル予防等の活動運動に取り組んだ人を対象に、入浴等の施設利用料の割引、さらには免除などを考えまして、健康づくり活動と温泉入浴

	への好循環と言ってますけれども、そこに結びつけていくということを考えて参りたいと思っております。 18ページでございます。健康アプリの活用による健康づくり活動の推進ということでございます。先ほどのインセンティブのこともございましたが、日常的に運動することを意識してもらうことは、自身の健康を維持する上で重要なことでございます。課題となるのはそれらの活動を継続していくということでございまして、それをフォローする仕組みとして健康アプリを活用したものを組み立ててみてはどうかということでございますし、最近あります健康マイレージのポイントの話ですとか、インセンティブ、デジタル通貨をつなぐとかも可能性としてはあるのかなというふうに思っておりますし、そういったものを継続させる、活動の中に助けるという意味でサポートするという意味で、盛り込んでいくというふうなことでございます。 それから19ページでございます。スポーツ活動の推進ということでございます。温泉と健康の連携の中でいろいろ取り組んでいくわけですが、スポーツの盛んなまちを目指してこの機会にスポーツ活動の推進というテーマで事業を考えてはどうかというお話でございます。スポーツをやっている、健康に向かっているということと繋がるのかなというふうなことでございます。またスポーツの後の三朝温泉ということもございまして、そういったものとスポーツの活動と温泉入浴の定着に向けて取り組んでいくということがこの考え方でございます。 20ページでございます。最後に健康づくりコンシェルジュの配置ということを考えております。コンシェルジュでございますが、体の機能に対し、個々の人に合った運動メニュー、いわゆるストレッチでありますとか筋力トレーニングとかそういったものを提案する役割相談に乗る役割かなというふうに思っております。やみくもに運動をしてもですね、それはやはり効果がられるものでもないのかなというところもありますので、そういった中で健康づくりに取り組むための相談役を配置してサポートしていただくと。そして健康づくりに取り組みたい町民の活動をより効果的に進めるということにつなげていきたいというふうなことでございます。2番目の柱については以上でございます。 前回いただいた意見では、温泉とフィットネスの目的に対して、両方やらなくちゃならないということとはよくわかるんですけども、温泉は温泉で入る人を、フィットネスは、それはそれっていう人も大多数おるんだけどなというようなご意見だったと思います。セットで、もちろん効果をねらっていくということはございますけれども、それぞれのプログラムなり、入浴施設を運営する中では当然、そこには対応していかないけんということで、プラス思考でそこは組み立てていくという考え方で実際運営とかの話になったときに、持っていけばいいなというふうには思っておるところでございます。以上でございます。
委員長	はい。ここまでのところですが、大きな柱の2番の部分、計画のページで言いますと14ページから20ページまでの部分でございますが、これに、ここまでのところでご質問なりご意見ありますか。
岸田委員	中部総合事務所の岸田です、よろしくお願いします。KPIのところなんですけども、この目的が町民の方の健康で長寿のまちづくりということなんですけど、それから健康を測るKPIとか長寿、その数が多いだとかそういったKPI、健康になったという、わかるようなKPIの設定は考えられるものですか。要介護者側の率が減ったとか、そういった健康だという何か証明できる証明ってあれですけど、何か具体的にわかれば形態の設定とかあんまり考えてられるでしょうかという質問です。
地域振興監	健康と言いながら痛いところだなというのが正直なところでございますが、こういったKPIの設定が可能かということも含めて検討をしたいと思います。町民全体に網をかけた中ではなかなか難しいというところも、実際の数字が出るか出ないかということとはございますので、その辺の組み立ては、うちの健康づくり分野とも相談をさせていただいて盛り込みをさせていただきます。ありがとうございます。
委員長	うちの方で設定の仕方、どういう指標がいいのかというのはちょっと検討をします。皆さんの方でもしこういうものを指標にしたらというのがあればまたご意見をください。その他何かありますか。

御船 委員	御船です。メインは町民の方の健康ということがあがってるわけですね。それを考えると、三朝町ってかなり広いんですよ。そういう方を、そういう広い中でどういうふうに町民を拾っていくのかっていうのがひとつ問題が出てくるんだろうなと思うんです。そういったときに、実は三朝地区にいろんな施設が集中して充実しているわけです。さらにそれを整理して、いいものを作っていこうという計画の中で、それをどういうふううまく利用し、それから医療と健康的に過ごすという住み分けっていうのをきちんとこう理解していただきながら、日常の生活の中で楽しみながら健康的に過ごすっていう、そういったことのハッピーになるような、気持ちをどう提供していくかっていうところをうまくやっていくと、いいものができるだろうと。ですからその辺のところの仕組みづくりプラットフォームをうまく作っていただけると。うまいこといくんじゃないかなと思います。以上です。
地域 振興 監	ありがとうございます。ぜひ取り組んでいきますし、またご相談に乗っていただければと思います。
委員 長	ありがとうございます。その他皆さんの方で何かございますか。はい。それでは、一旦先に進ませていただけたらと思います。それでは3つ目の柱からになります。
地域 振興 監	21ページからでございます。入浴等施設を整備するという柱でございます。ここにつきましては、前回の骨子の中では本当に概略しか示せておりませんので、少し数字等も含めて構想を立てておりますので、ご紹介をしながらご説明をさせていただきたいと思っております。施設を整備するというところでございます。施設整備におけるコンセプトを21ページにつきましては、前回も見ていただいておりますけれども、世界屈指のラドン含有量を誇る三朝温泉に相応しい入浴施設であるとか、町民の満足度が高く、町民の誇りとなる、これ大切なことだなというふうには思っておりますが、こういった視点、日常的に通いたくなる健康まちづくりの発信拠点、人が集まる機能コミュニティを形成する仕組みがあり、健康まちづくりを実現できるものといったような、コンセプトを掲げております。施設の機能、規模でございます。これにつきましては、非常に基本計画の中で、構想を考えるとというのが、難しいところがございます。設定については、今ある入浴施設等を参考にしながら規模をこのくらいかなということで、設定したというのが実際のところでございます。この中で入浴施設の入浴スペースということでここに書いております250平米と、うち浴室170平米でございます。これにつきましては、いわゆる「たまわりの湯」の規模の倍というぐらいでございます。で、源泉閣のお風呂ぐらいというイメージでございます。妥当かどうかという話になりますとそれはちょっと場所とかいろんなことが絡みますので、それがきっちりしたものではないんですけども大きさとして、それと集客と経営、収支の問題が今度絡んできますのでそこはこれからということになります。想定では、そのくらいでどうだろうかという考え方でございます。多目的運動スペースにつきましては、今年やりました湯ラックスとかで源泉閣をこれも使っておりますが、そこで使った広間の大きさ等を参考に、このくらいかなということで見ておるところでございます。その他のスペースは、事例を参考にしながらこのくらいかなということで、全体として700平米ということで挙げております。駐車場と公園と書いておりますが、リラックスするという屋外のスペースも要るだろうということで挙げております。全体で2,400ちょっとというような大きさを想定しております。建物としてはですから、700平米ぐらいかなというところでございます。 続きまして22ページでございます。それをもとに、概算の事業費でございます。これもですね、先ほどの面積と、それから事業者のコンサルの方で、例えばこのくらいですよ、このくらいの事例がございますというような数字を参考にしてザクッと押し上げた数字でございます。先ほどの施設の部分でいうとこれが大体これぐらいということでございます。妥当かどうかというのもあれですが、いただいた単価と物価上昇を少し見ているということで、いわゆる高めになっている、従来からすると高めになっているということはあるかもしれませんが、最近の状況からするとそのくらいのことはやっぱり必要かなと思っていますので、高めに少し高めという係数をちょっとかけておるというのが実際でござ

ざいます。

23ページでございます。整備計画地の選定ということでございます。そこに書いておりますけれども、基本的な考え方につきましては、町民の利用する上での利便性が確保できるエリア、運動スポーツ施設とのアクセスが容易なエリア、町の温泉配当が可能なエリア、三朝・山田・横手エリアということでございます。この考え方なり、先ほどのコンセプトであったり、規模を掲げましたが、これをもとに、候補地の選定に当たりまして、該当するエリアで一団の土地として存在する箇所を検討してきております。その結果でございますが、町の総合スポーツセンター周辺がいいのではないかと、もうその辺りでないとならないのではないかと、ということも感じておりますが、そういった結論で、周辺で検討すべきということでございます。なお、検討の中に候補地に挙げるどうかの前に、町が有しております三朝温泉の多目的駐車場とか、横手で申しますとふるさと健康むらの周辺というようなことも、一団の土地という意味では、それだけで言うと可能性を持っておるわけですが、すでにこれらの地や場所につきましては、従来の整備計画からの流れがでございます。三朝温泉で申しますと温泉街をにぎわいを創出しようとする駐車場等の考え方。それからふるさと健康むらで申しますと、住民の活動拠点という考え方そういった場所でございますし、現在もそれが発展的に活用をされておるという実態がございますので、そういう意味で、候補にならないといえますか、なれないということも、ありまして。代替を考えましても相当の経費を要するというところでございますので、そういうことも含めて、町総合スポーツセンターの周辺で検討をするのがいいのではないかと、ということでございます。

24ページでございます。町総合スポーツセンター周辺の状況について少し書いております。いわゆる目的に対して適切か、例えば経済性はどうかとか、そういったことに触れております。経済性の面で三角をつけております。総合スポーツセンターの周辺で検討する場合、端的に申しますと旧三朝保育園側という町有地と、もう一方で東側でございますけれども、ここは民有地でございましてそういった場所も検討をするということになりますと、用地取得有無、また造成費というものが、発生をするということでここについては、そういった経費がかかるということで△をつけておるということでございます。そういった中で、3番に町総合スポーツセンター周辺の整備計画地として理由として縷々書いてあります。いわゆる、本来目的の温泉と健康づくりの活動、この2つの関係性において、スポーツセンターとの連携が取りやすいというのはまず一番もって、大切なところかなというふうに思っておりますし、スポーツとそういったことで、スポーツから入浴、温泉活用、健康づくりという流れも作りやすいということ。スポーツセンターはすでに町民にとってのスポーツの一番の拠点という、体育館という意味では、定着をしておるというようなこともあるかなというふうに思っております。また周辺には温泉病院とかレスポワール、福祉センターもございまして。また、スポーツセンターとの連携を財政的に見ますと、将来的には運営も一体的に取り組むことも可能ではないかというようなことがあるかなというふうには思っております。そういう意味で23ページの位置図を見たときに、いわゆる温泉を核とし、温泉街の駐車場による活性化、ふるさと健康むらが持っている屋外での活動というものを、それから、スポーツセンターと新しい温泉施設で運動温泉の健康増進エリアという第3のエリアを作るということは、非常に地域の活性化、三朝町のそういった活性化に繋がるための施設整備としては、有効ではないかなというふうに判断をしたということでございます。

25ページをお願いします。運営主体についての考え方でございます。温泉と健康づくりを連携させるということと、入浴施設等を、入浴等施設を整備するということがそもそも今回の事業の両輪になるだろうなというふうに考えております。これらをうまく進めていくためには相当のノウハウ、専門的なノウハウ等が必要でありまして、施設を整備する入口から、官民連携民間の手法、提供していただくもの等いろいろあろうかなと思っております。そういった手法を持ちながら生かしながら取り組んでいきたいというふうに思っております。スケジュールにつきましては、予定を書いておりますが、令和8年度中ということでございます。ただ、なかなかこれは少し時間がかかりますので、どういうスケジュールがあくまでも目標という、理解をしなくてはならないんですが、こ

	れに向けてやっていくということでございます。 最後に26ページをお願いします。トレーニングジムの整備についてでございます。こちらにつきましては、スポーツセンターの遊休施設を使いまして、整備してはどうかということで計画するものでございます。200平米までぐらいのスペースを使いまして各種トレーニング機器等を整備して参るということで、括みでございますが、事業費でいうと、5,000万円からということで、計画を上げておるところでございます。計画については以上でございますが、前回のご意見の対証票をご覧いただきたいと思います。ここについては多数いただいております。一つ一つ見ていただければと思いますが、ご期待に沿えるよう、盛り込んで行っておるところでございます。ただ前回の説明のときには今日お話したような規模から事業費、そして場所の問題は、具体的には話ができておりませんので、そこについては、ご質問がないのはそういうことで今回が初めてということになろうかなと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。以上でございます。
委員長	3つ目の柱について以上でございますが、ここについて皆さんの方で何かご意見ありますか。
沖田委員	候補地の部分の話があったんですけど、スポーツセンターとの連携であったり、周りの環境の部分で、そちらが有力という部分はよくわかったんですが、今の現状を想像すると、用地取得もさっき言われてましたけど、必要になってきますし、その造成も含めると、ちょっとわからないのが、なぜふるさと健康むら周辺があまり検討されていないのかというところが、もう少しお聞きしたいかなと。そこがいいとか悪いとかというわけではなくて、もう少し検討されてもよかったんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょう。
地域振興監	整備してから10年弱ぐらいでございます。例えば、過疎債とかを使っておりますと、返還を要するとか、そういうことが財政的にはあります。そういうことも含めてですね。
足立委員	スポーツセンター周辺というところで、スポーツセンターと新しい入浴施設一体で運営したらどうかという内容も書いてあるんですけど。スポーツセンター自体の運営は指定管理を受けている我々観光協会としては、かなり結構ぎりぎりのところで回しているところもありまして、受入れるかどうか、他の団体が受けるのかどうかというのはわからないですけど、人員的には結構、厳しいところもあるので、一体でできるかどうかというのは、ちょっと疑問なところがありますけれど。
御船委員	御船です。具体的にあがってきますといろんな問題が具体的にあがってくるんで、この段階で、いろいろと洗い出しといった方がいいだろうと思って、今お2人からあった話はすごく当然でして、一番大事なのは場所だろうと思うんですよ。そして、想定されるのは、たまりにも全町からお越しになってるわけじゃないんですよ。そうすると、たまわりの実際に支えてる売り上げっていうのは、観光客、それから、周辺人口の人がちょっと来るってことです。場所の設定ってのは相当大切。町民がそれで年間6万人ですから、毎週1回休んだとしても、約300日の稼働になるわけですよ。300日の稼働でいくと、1日200人お越しいただかなきゃいけない。これすごい数字なんですよ。それからそれ以外の施設とやりますよって言っても、やっぱり300日稼働してると、130人ぐらいがずっとこう使って、すごい利用客でにぎやかな施設だっていうことが想像つくわけです。実際それって可能なんでしょうか。という問題が出てくるので、少ない人数でいくんだったら、このトレーニングの方なんかを付加していくっていうんだったら、高付加価値に持っていくっていうのが必要だろうなと思う。トレーニング施設と温泉と、温泉病院がありますから、医療というのを結びつけて、スポーツと医療というのは、そういうことが可能な地域ってここですよ。だから、ハードル高いかもしれませんが、そういったことを組み合わせて、温泉病院さんとも整形外科があるわけですからスポーツドクターとかトレーニング、いろんなそういったスペシャリストがそろった施設であると。これ高付加価値な施設になりますよね。周辺人口、町民で、今のこの6万人、4万人って本当に集客できるんでしょうかっていう、ちょっと不安がパッと見て、単純に思ったんですよね。これ、たちまち赤字になるのではないかなって。それから今、会長も言いましたけど設備だけ良くする。それをどういうふうに関連させるかっていうところも、ビジョンを描

	いていかないと、設備をよくしましたよだけって話。その辺のところは、今までのことはきちんといいことが、積み重なっているいろんな議論ができたと思うんで、実際にやる時には、そこを、どうセットアップして、ねらっていくかっていうのが大切なと思います。
	ありがとうございます。規模、場所、それぞれ事業費もそうですけれども、一応たたき台としてまだ粗い段階で、6万人がどうかというのも、言われるのは、最もなことだと思います。規模で言うと、湊泉閣のお風呂ぐらいというような話があって、我々もこの規模をどこに想定していいのかわからなくて、たまわりの湯の2倍ぐらいだということなんです、近隣で言うとハワイのユータウンだとか、関金の湯命館に比べるとかなり小さい施設です。ちなみにですね、ユータウン、湯命館クラスでいうと、浴室は400平米ぐらいのところでございます。ちょっとリアルでないのかもしれませんが、グリーンスクーレさんは170ぐらいでございますので、同じ感じだと。
委員長	いろいろと比較し、広さが全然違うのはわかっていただけたかと思います。要は、近隣の入浴施設に比べるとかなり小さめなものを想定して、今ははめて見ているということでございます。当然これから場所を決めていって、基本設計、実施設計に入っていくにあたって収支計算とかもしていっての話でいろいろと規模、どっか、そういったものを具体的には決めていくことになるかと思えます。今時点ではそういう意味では、何もしないで議論が進みませんので、とりあえず今こういったものを仮として載せているということでございます。なので、今のうちにいろいろ意見を言っというてもらうとありがたいかなと、規模の件に関しても、場所の件に関しても今のうちに。まだ、さらな状態のときにいろいろ意見を言っというてもらうと、今後に繋がるのかということもありますので。
御船委員	今回答えてくださってことでさっき言ったわけじゃないですが、いろいろな積み上げてきたときに、コンシェルジュで用意するとかいろんなことやるとかっていうのは、上がってきたんで、それをまとめて取ってひとつのステージに集約するっていうことになる、やはりその辺の高みを目指していかないといいものにならないなと思ったのと、それから採算ベースに合わせようと思うと、やっぱり県外の遠くからでも、三朝だったら温泉病院、医療施設もあって、浴場も良くて、そういったトレーナー、コンシェルジュがいるんだったら、行ってみたいと思えるような魅力のある、コンパクトでいいんですよ、大きなもの作る必要なくてコンパクトでいいから高品質なものをちょっと目指して欲しいなっていうのが希望なんです。だから、今回答えてくださってことじゃないですよ。だから、今あるものの、バラバラにあるものをひとつにまとめた。象徴的な施設にさせていただけるとうれしいなと思う。だから場所も含めてね、もう一度と思っています。
委員長	ありがとうございます。今回は資料も事前に配布ではなかったので、今日の今日なのでなかなかあれかもしれませんが、全体を通してでも結構ですし、もし何かあれば、もし今日が終わってからでも意見はいただければ幸いです。それでは、一旦これでいいということでもよろしいでしょうか。規模とかいろんなことがあるので今のうちにもしある、あるようでしたら言っておいていただけたらと思いますがないようでしたら、また後でどちらにしても多少の手はこれから入っていくかもしれませんので、はい。一旦ここで示させていただいて、4番のその他に入らせていただきたいと思います。

4 その後

地域振興監	この後でございます。同じ協議を議会ともするように予定をしていますので、そういったこととあわせて、整理をさせていただいて、そうですねスケジュール的にはこの基本計画を3月、今月末ぐらいに一応完成をしたということにして、次に進みたいというスケジュールを、さっきのスケジュールを見ていただいたんで考えております。
委員長	今申しました通り、議会にも、委員会全協です、説明をして意見をいただきたいと思えます、細かい修正のようでしたら、また細かい大筋に変更がないようでしたら今日皆さんご了解をいただけたということであれば、その修正なりを、また書面で、という形になるかもしれませんしやはり大きな修正が必要だということになれば、もしかしたら再度お集まりをいただいて、どうでしょうかということになるかと思えます。ちょっと流動的ではございますが一応スケジュール的には今月末には、これを成案としたいという

	スケジュールで進めたいと思いますので、ご協力をいただけたらと思います。はい。いただいたポイントをまた整理をいたしますのでよろしくお願いします。ありがとうございます。
--	--

5 閉会

委員長	はい。それでは、お忙しいところありがとうございました。特にご意見ないようでしたら、これで今日の会は閉じさせていただきたいと思います。今日はありがとうございました。
-----	---